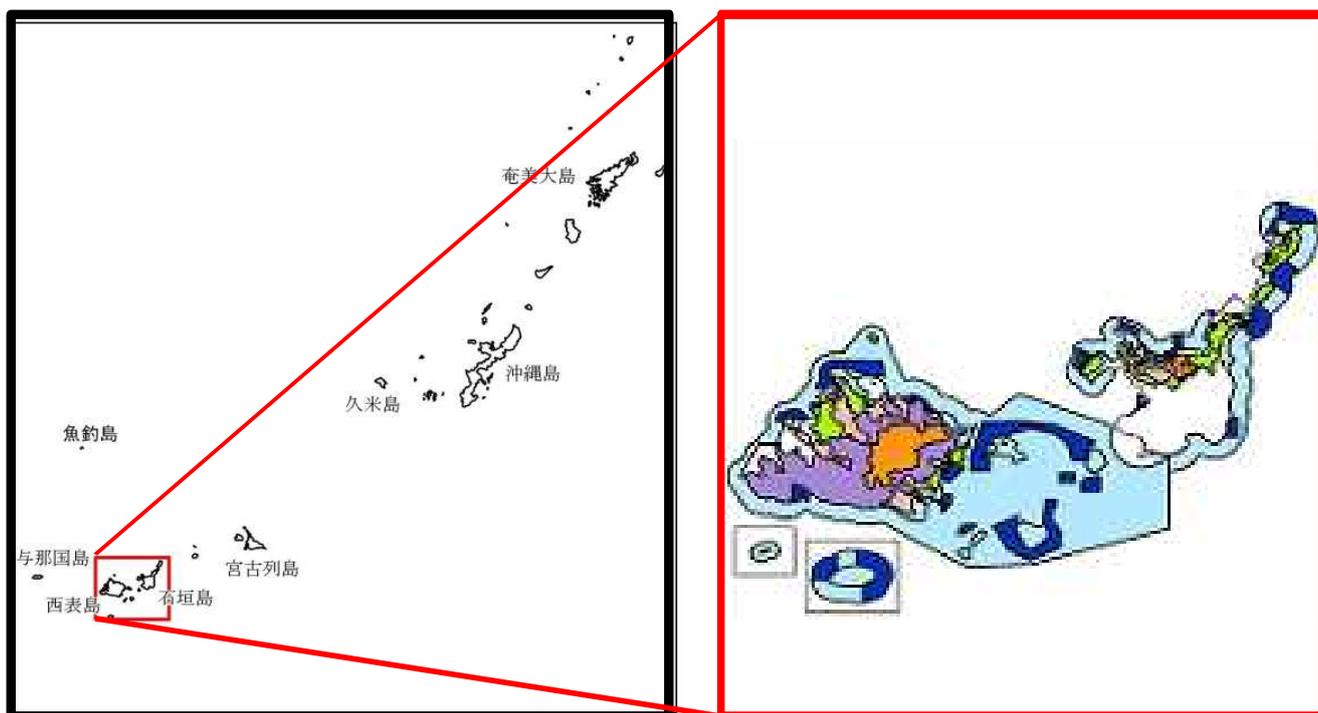


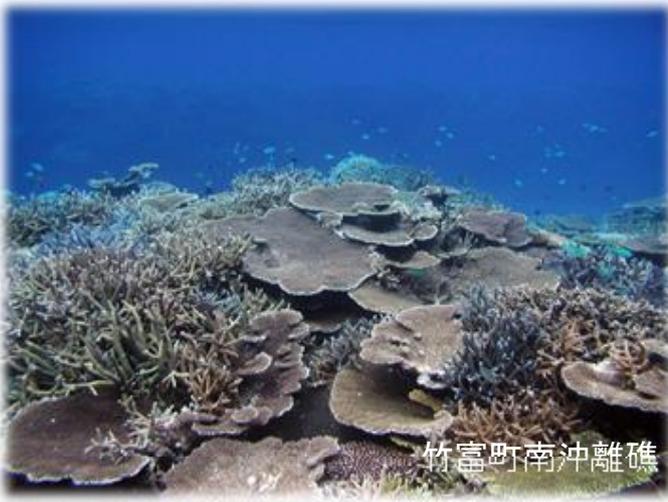
西表石垣国立公園

公園区域及び公園計画の変更
(第3次点検)

西表石垣国立公園の概要

テーマ 「原始的な亜熱帯林とサンゴ礁の海」





竹富町南沖離礁



イリオモテヤマネコ



マリウドラの滝



仲間川



川平湾



カンムリワシ



アオウミガメ



カクレマノミ



米原ヤエヤマヤシ



名蔵アンパル

西表石垣国立公園 経緯

昭和47年：西表国立公園指定

平成15年：全般的な見直し(再検討) (地種区分の設定)

平成19年：第1次点検(石垣地域の編入、名称を西表石垣国立公園へ変更)

平成24年：第2次点検(鳩間島・波照間島の編入、周辺海域の編入)

【面積】

(変更前) **91,676ha** (陸域 **21,958ha**、海域 **69,718ha**)

1.3倍

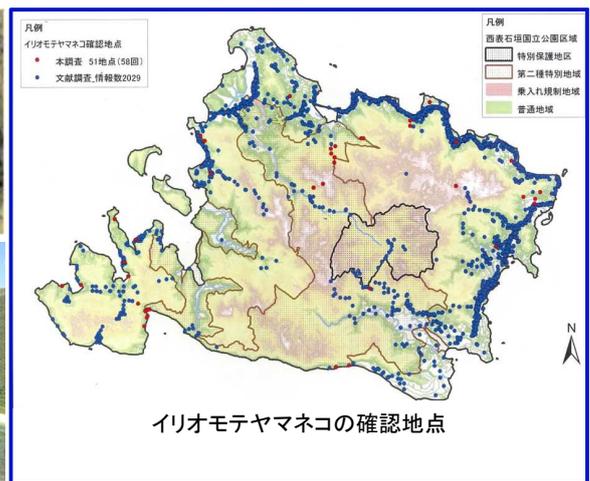
1.8倍

1.1倍

(変更後) **122,151ha** (陸域 **40,654ha**、海域 **81,497ha**)

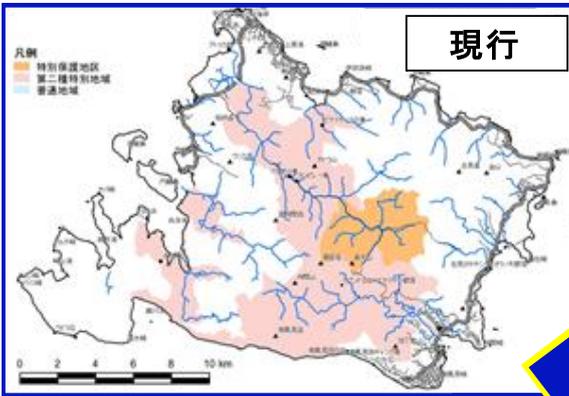
西表島 拡張の背景

- イリオモテヤマネコの生息密度は内陸山地部と沿岸低地部が同程度と推定
- 固有種が多く陸域から海岸まで連続性を持つ生物多様性の高い特徴的な生態系が全島的に形成
- 亜熱帯照葉樹林やマングローブ林、自然度の高い河川や海岸等が全島的に見られる
- 平成25年の新石垣空港の開港に伴う利用者増加(平成24年28万人→平成27年39万人)に伴う過剰利用への危惧



西表島陸域の保全強化

現行

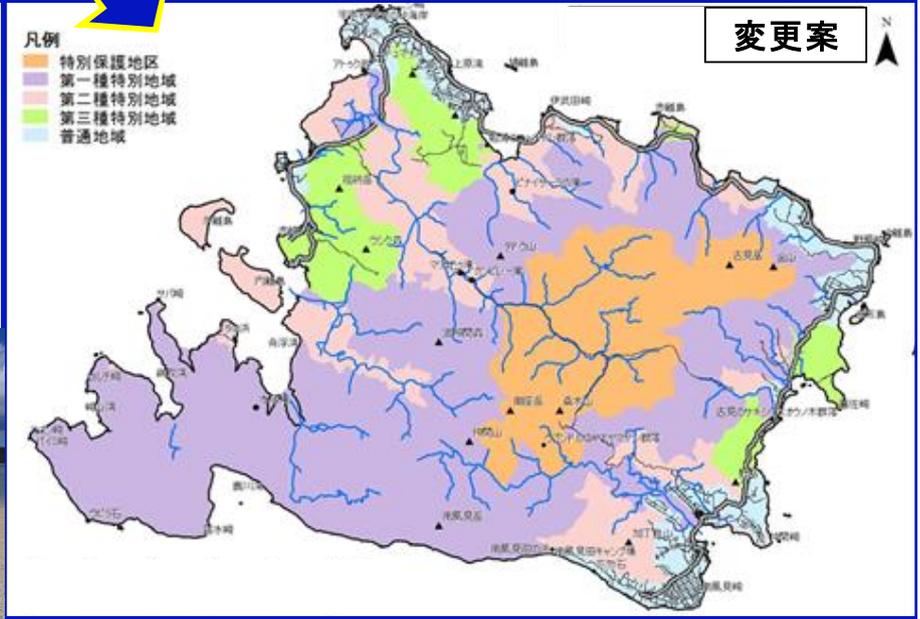


公園区域: 約10,800ha **約3倍**▶ 約29,000ha

特別保護地区: 約1,800ha **約2.5倍**▶ 約4,600ha

第1種特別地域: 0ha **▶** 約14,600ha

変更案



イリオモテヤマネコ、
カムリワシなど希少な
生物の生息環境の保全強化

亜熱帯照葉樹林、
マングローブ林、河川等、
自然度が高い風致景観を保全



イダの浜

西表島陸域の保全強化

浦内川河口 第1種特別地域

400種類以上の魚類が確認され
日本一生物多様性が高いとされ
ている浦内川の河口やヤエヤマ
ヤシ自生地等。

波照間森 第1種特別地域

原生的な亜熱帯照葉樹林とリュ
ウキュウマツ等の二次林。仲良
川上流にキバラヨシノボリやワタ
ナベオジロサナエ等が生息。

高那古見 第1種特別地域

亜熱帯照葉樹林やマングローブ
林、大小の河川等が良好な状態
で広がる。イリオモテヤマネコ、希
少な魚類等の生息地。

西表島中央部 特別保護地区

亜熱帯照葉樹林が原生的な状態
で残存し、西表島の景観を構成
する核心地。イリオモテヤマネコ
等の希少野生生物の生息地。

仲間崎・仲間川 第1種特別地域

マングローブ林が広がる観光ス
ポット。イリオモテヤマネコ等の希
少野生生物の生息地。

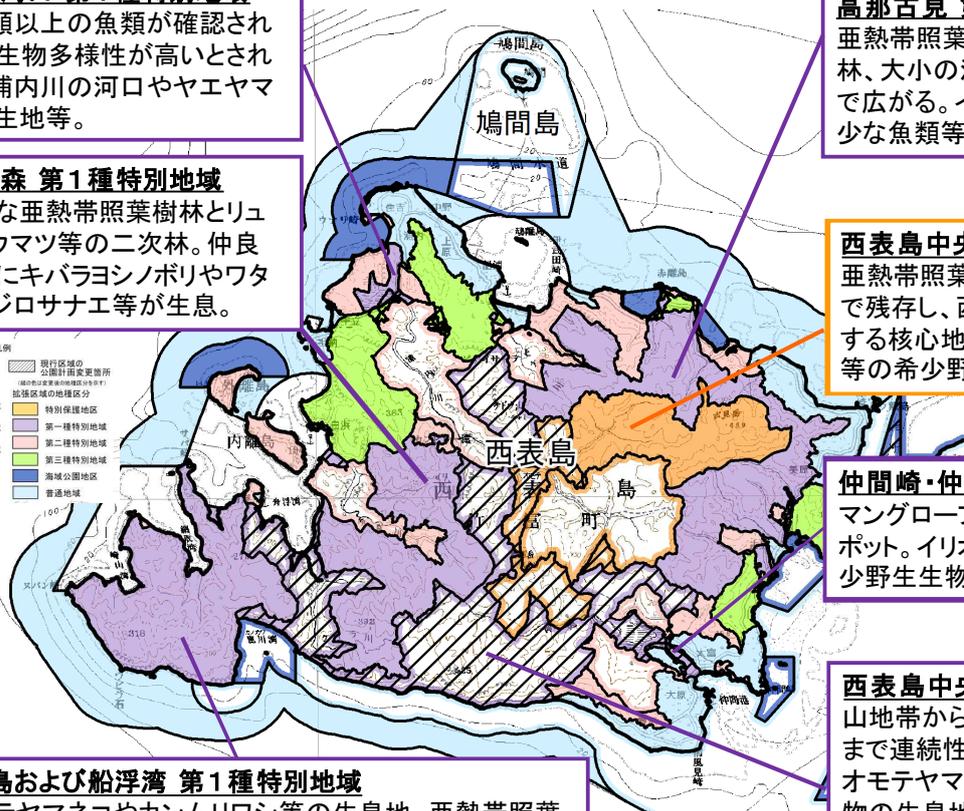
西表島中央部 第1種特別地域

山地帯からマングローブ林・干潟
まで連続性を有する生態系。イリ
オモテヤマネコ等の希少野生生
物の生息地。カヤック等の利用も
盛ん。



崎山半島および船浮湾 第1種特別地域

イリオモテヤマネコやカムリワシ等の生息地。亜熱帯照葉
樹林からマングローブ林・干潟まで連続性を有する生態系。



海域の保全強化

(拡張)

鳩間島バラス・宇那利崎 752ha

ハマサンゴ類、枝状ミドリイシ類、卓上ミドリイシ類を主体としたサンゴ群集。ダイビングスポット。



(新規)

西表島大見謝 103ha

後背にマングローブ林、海浜および干潟からなる多様な自然環境。マングローブ湿地固有の多様な底生生物。ヤマネコの餌場。



(新規)

外離島 391ha

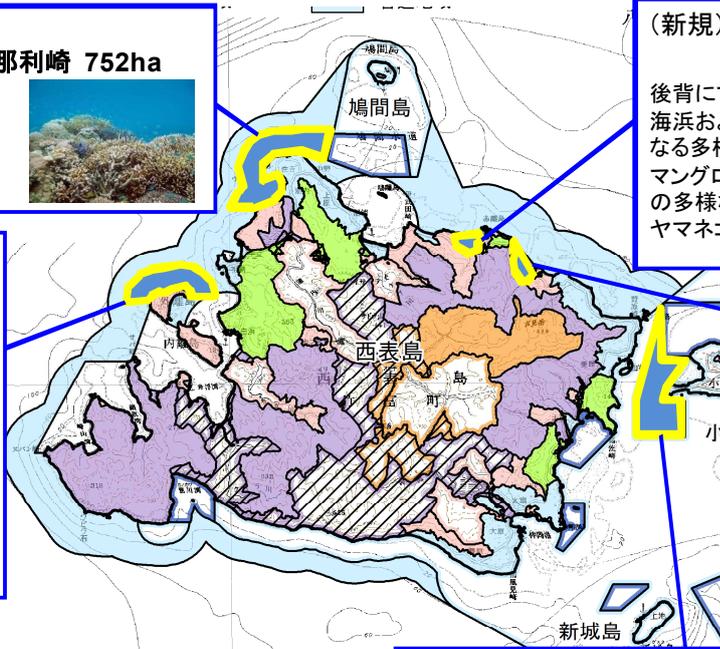
枝状ミドリイシ類が優占するサンゴ群集。ダイビングスポット。



(新規)

西表島ユツン 87ha

後背にマングローブ林、海浜および干潟からなる多様な自然環境。マングローブ湿地固有の多様な底生生物。ヤマネコの餌場。



海域面積

69,718ha → 81,497ha

海域公園地区面積

13,743ha(20ヶ所) → 15,923ha(23ヶ所)

(拡張)

竹富島タキドングチ・石西礁湖北礁・ヨナラ水道 847ha

枝状ミドリイシ類主体のサンゴ群集。ナンヨウマンタが目撃。ダイビングスポット。



石垣島 拡張の背景

サガリバナ

サガリバナ科の常緑高木

東南アジア帯の熱帯・亜熱帯に分布し、日本では南西諸島に自生

マングローブの後背地や川沿いの湿地に生育

石垣では6月下旬～7月中旬が一斉開花の最盛期

※花言葉は、『幸福に導く』

※色は、ピンク、白、赤、黄緑の4種が確認されている



サガリバナ群落の自生地は、西表島と石垣島で見られるが、**石垣島北部のサガリバナ群落は、歩いてアクセス出来る箇所に純林的に成立しているところが特徴**

平久保半島



サガリバナ群落内の様子

左：群落内を網目状に細流が流れる。

右：密生するサガリバナの稚樹。種間競争を経て純林を形成していく。

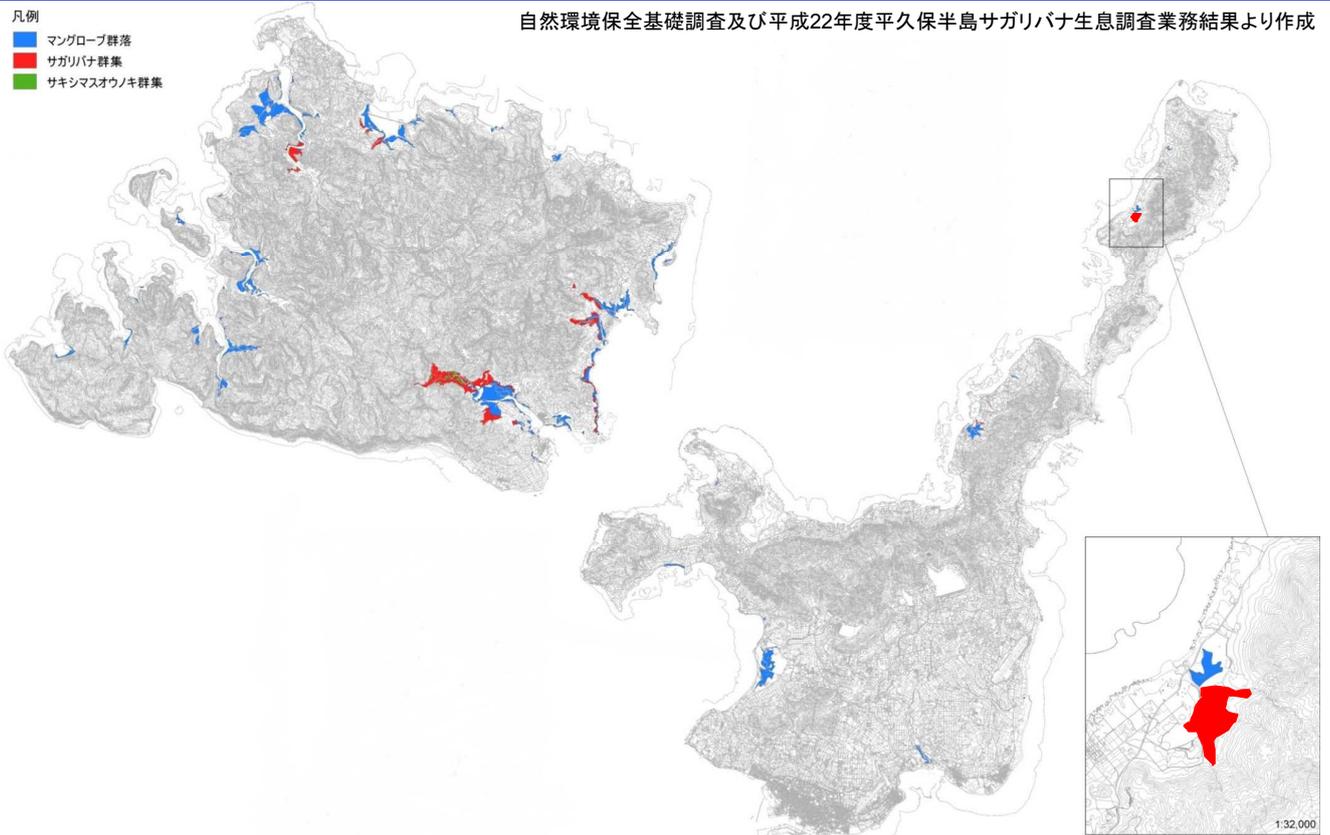


石垣島 拡張の背景

凡例

- マングローブ群落
- サガリバナ群落
- サキシマスオウノキ群落

自然環境保全基礎調査及び平成22年度平久保半島サガリバナ生息調査業務結果より作成



※平久保川沿の群落については、調査時(H22)にすでに状況を把握していたため、本調査対象外

石垣島 サガリバナ群落の保護強化

平久保川 第3種特別地域

下中流域にサガリバナの群落形成
地域住民等が保護活動や園路整備を実施

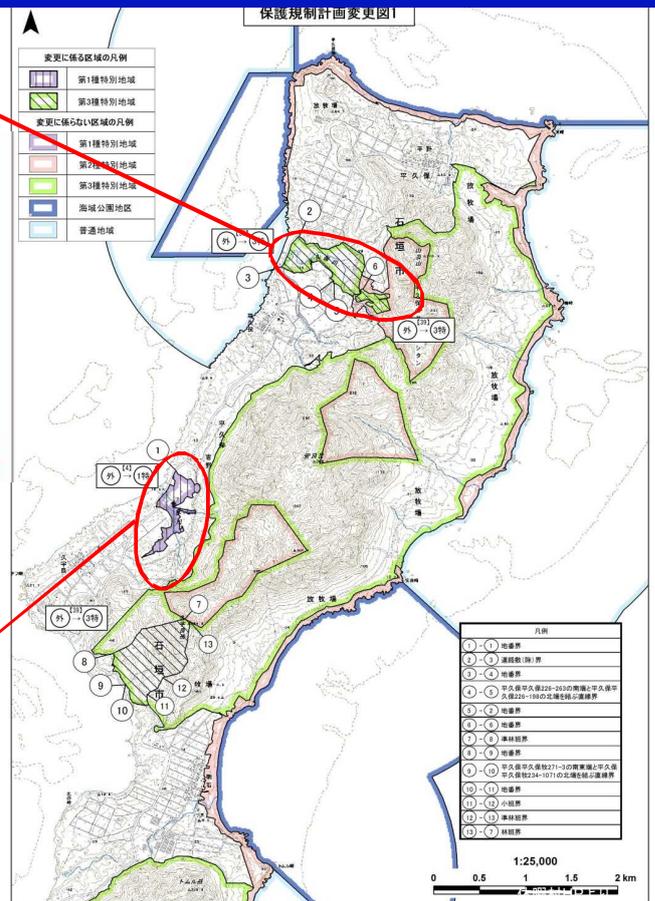


嘉良川 第1種特別地域

下中流域にサガリバナの大群落形成



安良岳と久宇良岳に囲まれた湿潤な凹地に生育するサガリバナ群落



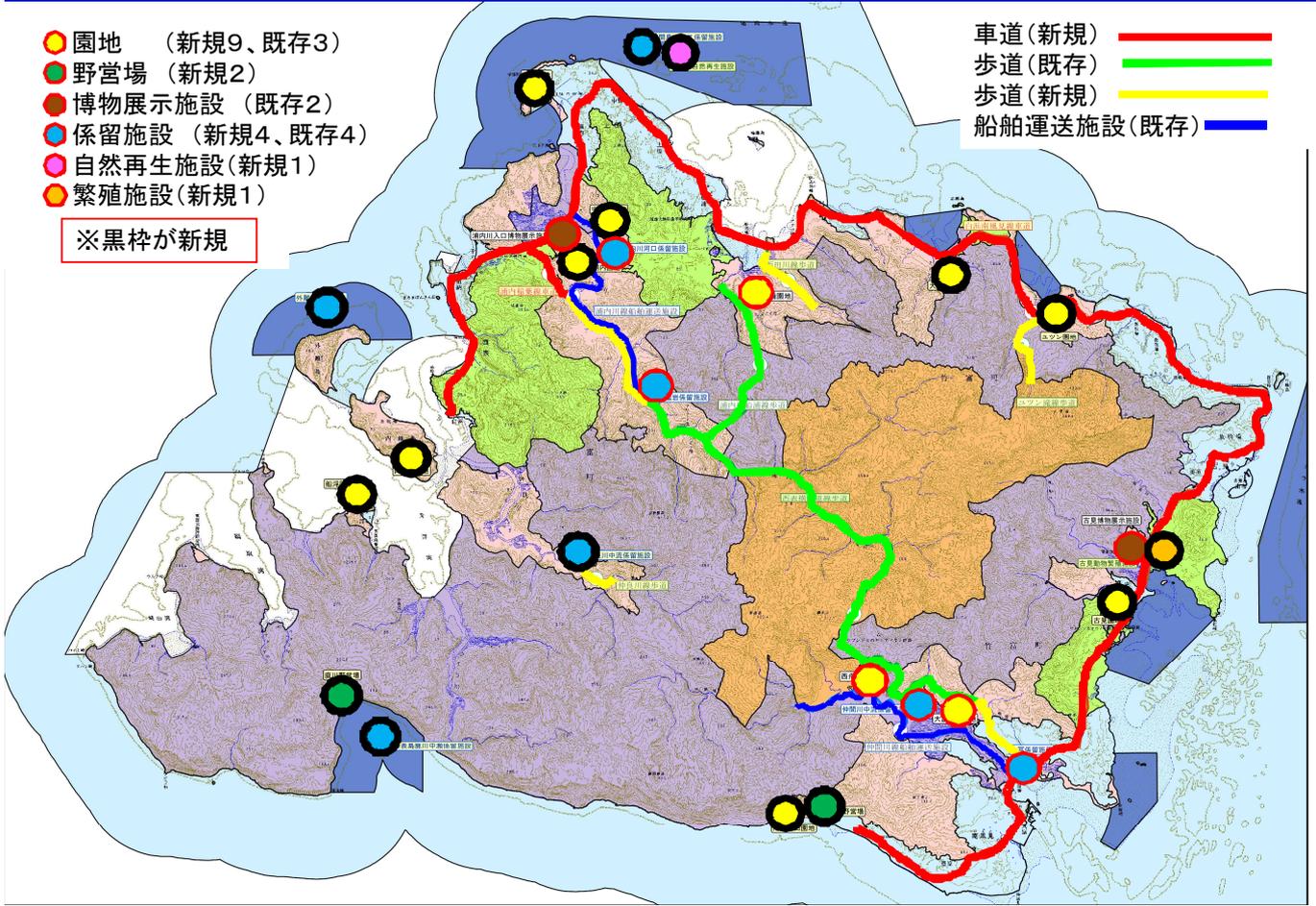
この地図は、国土院提供の地形図を基に、同等発行の20万分の1地形図、30万分の1地形図又は72.5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号：平21環保、第201号)

事業計画

- 園地 (新規9、既存3)
- 野営場 (新規2)
- 博物展示施設 (既存2)
- 係留施設 (新規4、既存4)
- 自然再生施設 (新規1)
- 繁殖施設 (新規1)

※黒枠が新規

- 車道(新規) —
- 歩道(既存) —
- 歩道(新規) —
- 船舶運送施設(既存) —

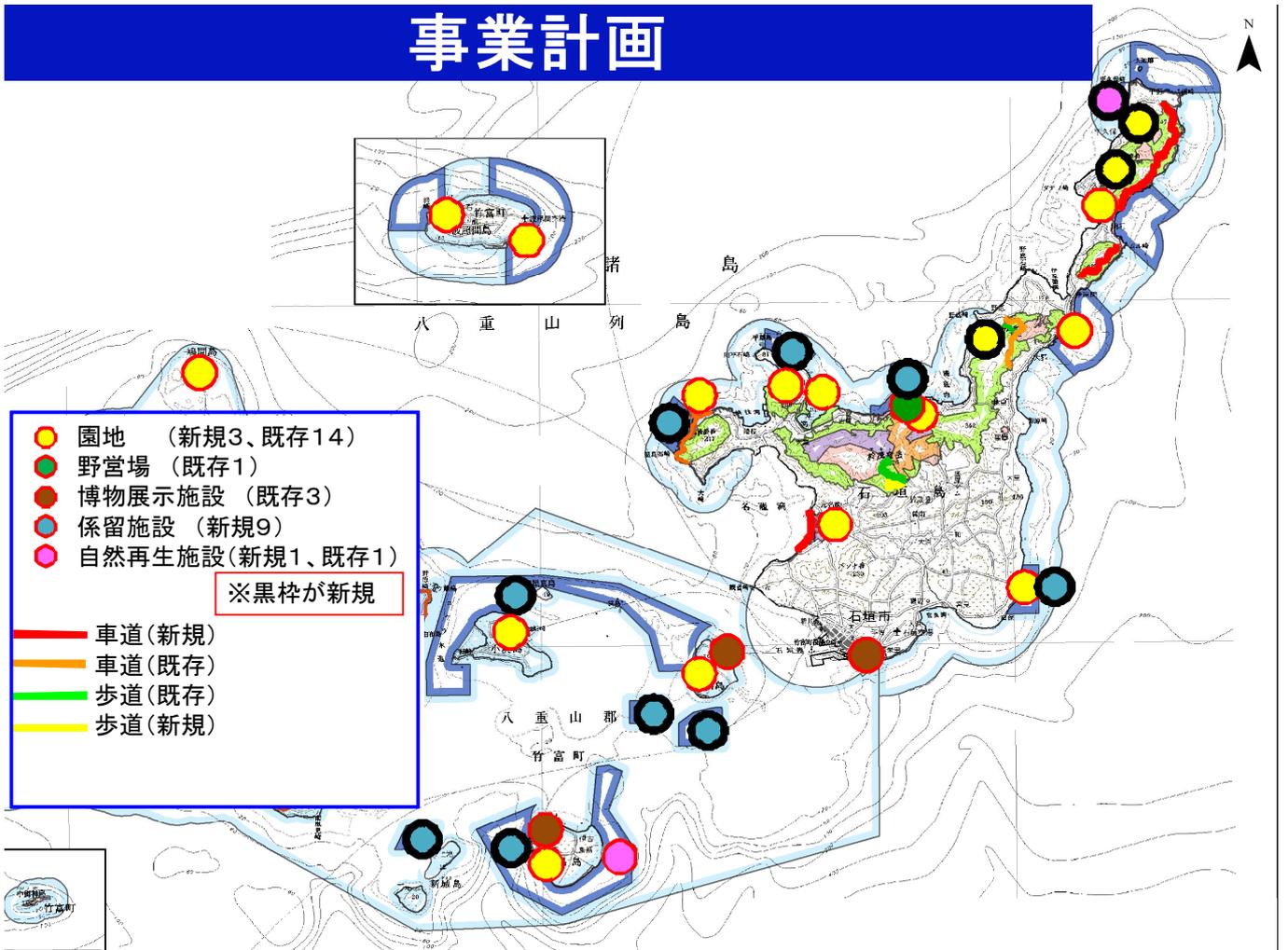


事業計画

- 園地 (新規3、既存14)
- 野営場 (既存1)
- 博物展示施設 (既存3)
- 係留施設 (新規9)
- 自然再生施設 (新規1、既存1)

※黒枠が新規

- 車道(新規) —
- 車道(既存) —
- 歩道(既存) —
- 歩道(新規) —

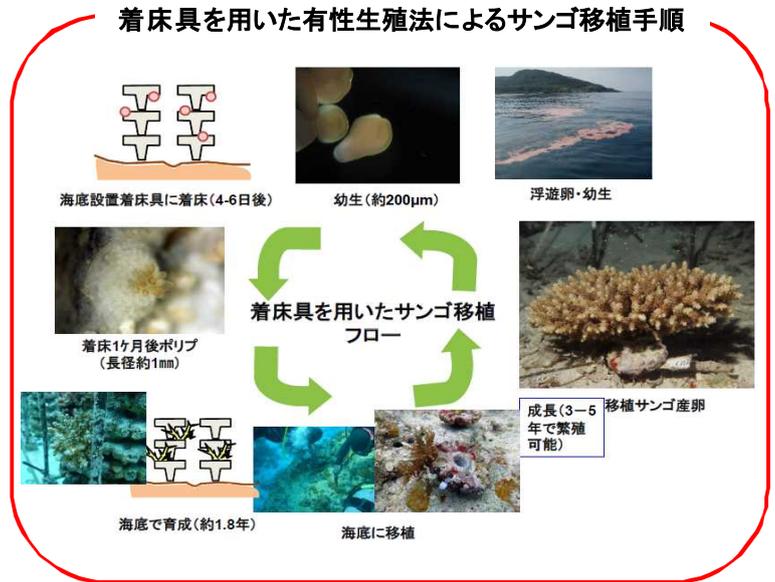


事業計画（保護施設計画）

自然再生施設 追加：2カ所（沖縄県石垣市及び八重山郡竹富町）
 動物繁殖施設 追加：1カ所（沖縄県八重山郡竹富町）

【例】石西礁湖自然再生施設

サンゴ礁生態系を保全再生するため、石西礁湖自然再生全体構想に基づき、必要なモニタリング調査等を実施



事業計画（単独施設、運輸施設）

単独施設 追加：園地（12カ所）、野営場（2カ所）
 削除：水泳場（1カ所）

【例】

平久保園地の追加

平久保川のサガリバナ群落周辺の自然探勝地域住民が園路を整備
 開花期は約50人/日（最大約600人/日）



園路

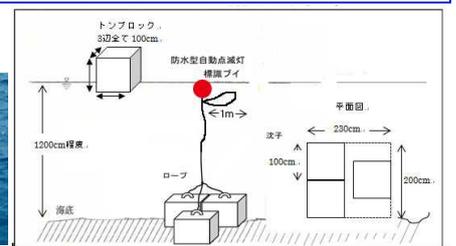


運輸施設

追加：係留施設（13カ所）
 削除：係留施設（1カ所）

海域公園地区において、適切な利用を推進するために係留施設（係留ブイ）を計画

係留ブイイメージ



事業計画(道路施設)

道路(車道)

追加： 4路線 (平久保伊原間線、名蔵アンパル線、白浜南風見線、浦内稲葉線)

道路(歩道)

追加： 3路線 (西田川線、ユツン滝線、仲良川線)

変更： 2路線 (西表縦走線、於茂登岳線)、削除： 1路線 (御座岳線)

【例】

白浜南風見線(道路)

県道215号で西表島の白浜と南風見を結ぶ幹線道路

西表島を周遊する車道としてイリオモテヤマネコ等の交通事故対策(看板、モデル区間、ゼブラゾーン、アンダーパス等)が実施されている



看板



アンダーパス



ゼブラゾーン



モデル区間

パブリックコメントの実施結果

■概要

・実施期間 平成27年8月25日(火)～9月23日(水)

・意見募集の結果

【意見提出数】

電子メール、郵送、FAX 計35通

【整理した意見数】

今回の変更案にかかるもの 36件

・意見の内容

参考資料1-1のとおり